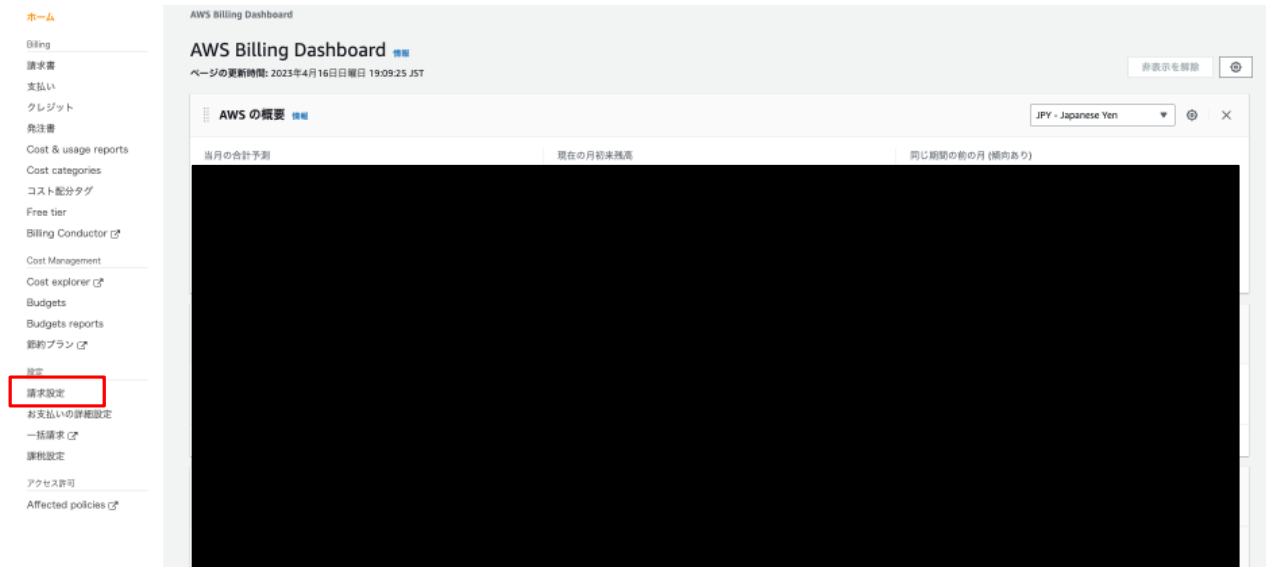


動画内資料の訂正

対象の動画 9. CloudTrailで操作ログを記録しよう

本資料でご案内しているCloudTrailを使った請求アラートの設定方法について

1. AWS Billing Dashboardにアクセスし、ナビゲーションメニューの「請求設定」を選択する。



2. アラート設定で編集を選択する。

下図のように「AWS無料利用枠アラートを受信する」「CloudWatch請求アラートを受信する」にチェックを入れて更新を選択する。
Eメールアドレスはアラート検知のために入力しておくことを推奨

アラート設定 情報

☒ AWS 無料利用枠アラートを受信する

これが有効化されている場合、AWS 無料利用枠使用状況アラートは、このアカウントのルートユーザーの E メールアドレスに配信されます。これらの E メールアラートには、受信者をさらに追加できます。

アラートを受信するための追加の E メールアドレス - オプション

☒ CloudWatch 請求アラートを受信する

一度有効にすると、この設定を無効にすることはできません。

更新

キャンセル

3. CloudTrailで証跡を作成する

※証跡ログバケットおよびフォルダはデフォルトのままでOK

※ログファイルのSSE-KMS暗号化はチェックを外す

※その他のオプションはデフォルトのままでOK

3-1. 証跡属性の選択

証跡属性の選択

全般的な詳細

コンソールで作成された証跡は、マルチリージョンの証跡です。[詳細](#)

証跡名

証跡の表示名を入力します。

cloudtraillog

3~128文字。文字、数字、ピリオド、アンダースコア、ダッシュのみを使用できます。

☐ 組織内のすべてのアカウントについて有効化
組織のアカウントを確認するには、AWS Organizations を開きます。[すべてのアカウントを表示](#)

ストレージの場所

情報

☒ 新しい S3 バケットを作成します
証跡のログを保存するバケットを作成します。

☐ 既存の S3 バケットを使用する
この証跡のログを保存する既存のバケットを選択します。

証跡ログバケットおよびフォルダ

ログを保存する新しい S3 バケット名とフォルダ (プレフィックス) を入力します。バケット名はグローバルに一意である必要があります。

aws-cloudtrail-logs-725766711151-be06d168

ログは aws-cloudtrail-logs-725766711151-be06d168/AWSLogs/725766711151 に保存されます

ログファイルの SSE-KMS 暗号化

情報

☐ 有効

▼ その他の設定

ログファイルの検証

情報

☒ 有効

SNS 通知の配信

情報

☐ 有効

CloudWatch Logs - オプション

証跡ログをモニタリングし、特定のアクティビティが発生したときに通知するように CloudWatch Logs を設定します。CloudWatch と CloudWatch Logs の標準料金が適用されます。[詳細](#)

CloudWatch Logs

情報

☐ 有効

▶ ポリシードキュメント

タグ - オプション

情報

証跡を含むリソースの管理や整理に役立つ 1 つ以上のタグを追加できます。

キー

値 - オプション

Q キーの入力

Q 値の入力

削除

タグの追加

49 個の タグ を追加できます

キャンセル

次へ

3-2. ログイベントの選択

ログイベントの選択

イベント

情報

個々のリソース、または AWS アカウントの現在および将来のすべてのリソースの API アクティビティを記録します。[追加料金が適用されます](#)

イベントタイプ

ログ記録するイベントのタイプを選択します。

☒ 管理イベント
AWS リソースで実行された管理オペレーションをキャプチャします。

☐ データイベント
リソース上またはリソース内で実行されたリソース操作をログに記録します。

☐ Insights イベント
アカウントの異常なアクティビティ、エラー、またはユーザーの動作を特定します。

管理イベント

情報

管理イベントには、AWS アカウントのリソースで実行された管理オペレーションに関する情報が表示されます。

① この証跡のログ管理イベントには追加料金はかかりません。これは、管理イベントの最初のコピーであるためです。

API アクティビティ

ログ記録するアクティビティを選択します。

☒ 読み取り

☒ 書き込み

☐ AWS KMS イベントの除外

☐ Amazon RDS のデータ API イベントを除外

キャンセル

戻る

次へ

3-3. 確認と作成

確認と作成

ステップ 1: 証跡属性の選択

編集

全般的な詳細

証跡名 cloudtraillog-second	証跡ログの場所 aws-cloudtrail-logs- 725766711151- be06d168/AWSLogs/7257667111 51	ログファイルの検証 有効
マルチリージョンの証跡 はい		SNS 通知の配信 無効
組織に証跡を適用 有効になっていません	ログファイルの SSE-KMS 暗号化 有効になっていません	

CloudWatch Logs

CloudWatch Logs のロググループなし

CloudWatch Logs はこの証跡用に設定されていません

タグ

キー

値

タグなし

この証跡に関連付けられたタグはありません

ステップ 2: ログイベントの選択

編集

管理イベント

API アクティビティ すべて	AWS KMS イベントの除外 いいえ Amazon RDS のデータ API イベントを除外 いいえ
--------------------	--

データイベント

この証跡に対してデータイベント収集が設定されていません

Insights イベント

CloudTrail Insights は、管理イベントをログ記録する証跡でのみ有効にできます。 [詳細](#)

キャンセル

戻る

証跡の作成

以上